

北九州市立菊陵中学校

# 春休みの学習

2026 Spring



出身小学校

小学校

6年

組

なまえ

# 漢字のたしかめ 100

① さくら の花 ② き 木の ③ こん 虫 ④ かん 環 ⑤ ひょう 氷

⑥ こう 校 ⑦ じゆ 業 ⑧ きょう 教 ⑨ く ⑩ たん 短

⑪ せい 成 ⑫ へい 平 ⑬ てん 点 ⑭ しやかい 社会の道 ⑮ ち 知

⑯ ゆめ ⑰ きよう 味 ⑱ こ 的 ⑲ ひよう 的 ⑳ かん 感

㉑ しん 新 ㉒ せん 線 ㉓ にゅう 入場 ㉔ けん 体旅行 ㉕ だん 当

㉖ こ ㉗ げん 原 ㉘ いん 機 ㉙ けん 機 ㉚ さ 機 ㉛ ぎ 機

㉜ じ 事 ㉝ こ ㉞ ねん 車 ㉟ えき 車 ㊱ たい 車 ㊲ じん 車

㊳ せいの 車 ㊴ せいの 車 ㊵ せいの 車 ㊶ せいの 車 ㊷ せいの 車

㊸ せいの 車 ㊹ せいの 車 ㊺ せいの 車 ㊻ せいの 車 ㊼ せいの 車

㊽ せいの 車 ㊾ せいの 車 ㊿ せいの 車

① 自然 ② 実 ③ 新 ④ 組 ⑤ 文化

⑥ 害救助 ⑦ 口 ⑧ 建 ⑨ 物 ⑩ 進入を ⑪ 止する

⑫ 入 ⑬ 会社 ⑭ 品 ⑮ 金 ⑯ 治

⑰ 見る ⑱ 星 ⑲ 約

⑳ 約 ㉑ 約 ㉒ 約 ㉓ 約 ㉔ 約

㉕ 約 ㉖ 約 ㉗ 約 ㉘ 約 ㉙ 約

㉚ 約 ㉛ 約 ㉜ 約 ㉝ 約 ㉞ 約

㉟ 約 ㊱ 約 ㊲ 約 ㊳ 約 ㊴ 約

㊵ 約 ㊶ 約 ㊷ 約 ㊸ 約 ㊹ 約

㊺ 約 ㊻ 約 ㊼ 約 ㊽ 約

㊾ 約 ㊿ 約

① ふく ② き ③ せき ④ せき ⑤ たい ⑥ かく ⑦ ほう ⑧ せい

⑨ ぶん ⑩ ほん ⑪ いきお ⑫ ひさ ⑬ しぶり ⑭ ふた ⑮ び ⑯ なぎ

⑰ あば ⑱ しぐさが ⑲ に ⑳ ける ㉑ 犬 ㉒ ころよ ㉓ い ㉔ まず

㉕ 本を ㉖ す ㉗ 礼を ㉘ の ㉙ べる ㉚ 例を ㉛ す ㉜ 道に ㉝ う

㉞ 数か ㉟ へ ㊱ える ㊲ ふ ㊳ える ㊴ くら ㊵ べる ㊶ 紙が ㊷ あま ㊸ える ㊹ ころよ

㊺ 柱を ㊻ ささ ㊼ える ㊽ みちび ㊾ く ㊿ 時間 ㉑ かる ㉒ 紙が ㉓ ころよ

㉔ 煙を ㉕ たがや ㉖ す ㉗ 商店を ㉘ いたな ㉙ おむ ㉚ 席を ㉛ うつ ㉜ 客を ㉝ まね ㉞ くる

㉟ 人服 ㊱ 毛 ㊲ をかける ㊳ 波が ㊴ せる ㊵ 夏が ㊶ ぎる

㊷ 先 ㊸ 伝 ㊹ 工芸 ㊺ 出 ㊻ 社 ㊼ 金

㊽ 事 ㊾ 人 ㊿ 順 ㉑ 転 ㉒ 省 ㉓ 業

㉔ ぎ ㉕ む ㉖ 度 ㉗ 実 ㉘ な ㉙ 経 ㉚ 験

㉛ 得る ㉜ び ㉝ 正 ㉞ しい

㉟ 分 ㊱ 本 ㊲ いきお ㊳ ひさ ㊴ しぶり ㊵ ふた ㊶ び ㊷ なぎ

㊸ ける ㊹ しぐさが ㊺ に ㊻ べる ㊼ 例を ㊽ す ㊾ 道に ㊿ う

㉑ 数か ㉒ へ ㉓ える ㉔ ふ ㉕ える ㉖ くら ㉗ べる ㉘ 紙が ㉙ あま ㉚ える ㉛ ころよ

㉜ 柱を ㉝ ささ ㉞ える ㉟ みちび ㊱ く ㊲ 時間 ㊳ かる ㊴ 紙が ㊵ あま ㊶ える ㊷ ころよ

㊸ 煙を ㊹ たがや ㊺ す ㊻ 商店を ㊼ いたな ㊽ おむ ㊾ 席を ㊿ うつ ㉑ 客を ㉒ まね ㉓ くる

㉔ 人服 ㉕ 毛 ㉖ をかける ㉗ 波が ㉘ せる ㉙ 夏が ㉚ ぎる

㉛ 先 ㉜ 伝 ㉝ 工芸 ㉞ 出 ㉟ 社 ㊱ 金

㊲ 事 ㊳ 人 ㊴ 順 ㊵ 転 ㊶ 省 ㊷ 業

㊸ ぎ ㊹ む ㊺ 度 ㊻ 実 ㊼ な ㊽ 経 ㊾ 験

㊿ 得る ㉑ び ㉒ 正 ㉓ しい

# 1

次の□に入る適切な漢字を書こう。

- ① □ いずみ の水で手を □ あら う。
- ② □ つくえ の □ すん 法を測る。
- ③ キャベツを □ きざ んで皿に □ も る。
- ④ 喜びのあまり □ われ を □ わす れる。
- ⑤ □ おさな い子を □ せ 負う。
- ⑥ □ たまご と牛 □ にゅう をかき混ぜる。
- ⑦ 事件をさまざまに □ し 点から □ すい 理する。
- ⑧ □ せん 門家の意見を □ そん 重する。
- ⑨ フランスの □ けん 法を日本語に □ やく す。

# 2

二字の熟語が続くように、□に入る漢字を後の□の中から選んで書こう。

〈例〉 発 ↓ 見 ↓ 学 ↓ 問 ↓ 題 ↓ 名 ↓ 人

① 頭 ↓ □ ↓ 切 ↓ □ ↓ 去 ↓ □ ↓ 職

② □ ↓ 評 ↓ 価 ↓ □ ↓ 段 ↓ 階 ↓ □

③ 独 ↓ □ ↓ 意 ↓ □ ↓ 望 ↓ □ ↓ 士

④ 同 ↓ □ ↓ 主 ↓ 体 ↓ □ ↓ 作 ↓ □

除	郷
操	批
層	痛
値	盟
就	詞
創	欲

### 3

□の漢字の部分を組み合わせて、二字熟語を作ろう。

〈例〉日 + 言 + 正 + 月 ↓ 証明

① 四 + 衣 + 直 + 壮 ↓ □

② 才 + 弓 + 長 + 広 ↓ □

③ 義 + 各 + 言 + 門 ↓ □

④ 糸 + 厂 + 土 + 宿 ↓ □

### 4

次の□の中の語を組み合わせ、四字熟語を作ろう。

小異	君子	四捨	大器
五入	晩成	大同	聖人



□	□	□	□
□	□	□	□
□	□	□	□
□	□	□	□

### 5

それぞれの□どうし、○どうしには、同じ読み方の漢字が入る。適切な漢字を後の□の中から選んで書こう。

〈例〉百科事典・金貨・晴天

① □ 察 ○ □ 語 ○ 島

② □ 気 ○ □ 直 ○ 約

③ □ 心 ○ □ 鉄 ○ 態

④ □ 会 ○ □ 勤 ○ 混

⑤ □ 判 ○ 返 □ ○ 板

垂	条
署	上
敬	警
覧	鋼
諸	向
乱	水
裁	官
展	蒸
濟	看
転	状

① 桜さくらの花はな ② 木の枝えだ ③ こん虫こむし 採集さいしゅう ④ 環境きやうきやう ⑤ 氷河ひやうが 期き

⑥ 校舎きやうしゃ ⑦ 授業じゆく ⑧ 教師きやうし ⑨ 句く 読点とくてん ⑩ 短編たんぺん 集しゆを讀よむ

⑪ 成績せいせき ⑫ 平均へいきん 点てん ⑬ 質しつ 問もん ⑭ 社会しやかいの道どう ⑮ 徳とく ⑯ 知ち 識しき

⑯ 夢ゆめ ⑰ 興きやう 味み ⑱ 個性こせい 的てき ⑲ 評判ひやうばん ⑳ 感かん 謝しゃ の氣き持もちち

㉑ 新幹しんかん 線せん ㉒ 入場にりやう 券けん ㉓ 団だん 体たい旅行りやうこう ㉔ 弁べん 当どう ㉕ 往復おうふく

㉖ 事じ 故こ ㉗ 原げん 因いん ㉘ 機械きかの檢査けんさ ㉙ 技ぎ術じゆつ ㉚ 圧あつ 力りき

㉛ 車くるまの燃ねん 料りやう ㉜ 液えき 体たい ㉝ 酸さん 素そ ㉞ 人じん工こう衛えい 星せい ㉟ 条じやう 約やく

㊱ 輸ゆ 入にり ㊲ 貿易ぼうえき 会かい社しゃ ㊳ 新しん 製せい 品ひん ㊴ 税ぜい 金きん ㊵ 政せい 治ち

㊶ 自然しぜん 保ほ 護ご ㊷ 実じつ 際さい ㊸ 見み る ㊹ 組ぐ 織しき ㊺ 文ぶん 化か ㊻ 財さい を守まもる

㊼ 災さい 害がい救きう助じゆ ㊽ 非ひ 常じやう ㊾ 口くち 建けん 築ちく 物ぶつ ㊿ 進しん 入にりを禁きん 止しする

㊱ 複ふく 雑ざつ ㊲ 許きよ 可か を得える ㊳ 準じゆん 備び ㊴ 規き 則そく 正ただしい

㊵ 義ぎ 務む ㊶ 責せき 任にん ㊷ 態たい 度ど ㊸ 確かく 実じつ ㊹ 豊ほう 富ふ な經けい験けん

㊺ 事じ 件けん ㊻ 犯はん 人じん ㊼ 順じゆん 序じよ ㊽ 逆ぎやく 転てん ㊾ 省しやう 略りやく ㊿ 職しやく 業ぎやう

㊱ 祖そ 先せん 伝でん ㊲ 統とう 工こう 芸げい ㊳ 現げん 在ざい ㊴ 出しゅつ 版ばん 社しゃ ㊵ 金きん 額がく

㊶ 婦ふ 人じん 服ふく ㊷ 毛もう 布ふ をかかける ㊸ 波なみが寄よ せる ㊹ 夏なつが過す ぎる

㊺ 畑はたけを耕たがす ㊻ 商しやう 店てんを營いとなむ ㊼ 席せきを移うつる ㊽ 客きやくを招まねく

㊾ 柱はしらを支ささえる ㊿ 導みちびく ㊱ 時じ間かんを限かぎる ㊲ 防ふせぐ ㊳ 退しりぞく

㊴ 数かずが減へる ㊵ 増ふえる ㊶ 比くらべる ㊷ 紙かみが余あまる ㊸ 志こころざす

㊹ 本ほんを貸かす ㊺ 礼らいを述のべる ㊻ 例れいを示しめす ㊼ 道みちに迷まよう

㊽ 暴あばれる ㊾ しぐさが似にる ㊿ 飼かい犬いぬ ㊱ 快こころよい ㊲ 貧ますしい

㊳ 分ぶん 厚あつ い本ほん ㊴ 勢いきおい ㊵ 久ひさしぶり ㊶ 再ふたび ㊷ 情なさけ深がい

1 次の□に入る適切な漢字を書こう。

① 泉いずみの水で手を洗あらう。

② 机つくえの寸すん法を測る。

③ キャベツを刻きざんで皿に成も皿る。

④ 喜びのあまり我われを忘わすれる。

⑤ 幼おきない子を背せ負う。

⑥ 卵たまごと牛乳にゅうをかき混ぜる。

⑦ 事件をさまざまに視し点から推すい理する。

⑧ 専せん門家の意見を尊そん重する。

⑨ フランスの憲けん法を日本語に訳やくす。

2

二字の熟語が続くように、□に入る漢字を後の□の中から選んで書こう。

例 発 ↓ 見 ↓ 学 ↓ 問 ↓ 題 ↓ 名 ↓ 人

① 頭 ↓ 痛 ↓ 切 ↓ 除 ↓ 去 ↓ 就 ↓ 職

② 批 ↓ 評 ↓ 価 ↓ 値 ↓ 段 ↓ 階 ↓ 層

③ 独 ↓ 創 ↓ 意 ↓ 欲 ↓ 望 ↓ 郷 ↓ 土

④ 同 ↓ 盟 ↓ 主 ↓ 体 ↓ 操 ↓ 作 ↓ 詞

除	郷
操	批
層	痛
値	盟
就	詞
創	欲

### 3

□の漢字の部分を組み合わせて、二字熟語を作ろう。

例

日 + 言 + 正 + 月 ↓ 証明

① 四 + 衣 + 直 + 壮 ↓ 装置

② 才 + 弓 + 長 + 広 ↓ 拡張

③ 義 + 各 + 言 + 門 ↓ 閣議

④ 糸 + 厂 + 土 + 宿 ↓ 圧縮

### 4

次の□の中の語を組み合わせ、四字熟語を作ろう。

小異	君子	四捨	大器
五入	晚成	大同	聖人



四捨	大器	聖人	君子
五入	晚成	君子	小異

### 5

それぞれの□どうし、○どうしには、同じ読み方の漢字が入る。適切な漢字を後の□の中から選んで書こう。

例

百科事典・金貨・晴天

① 敬 察 署  
敬 語  
諸 島

② 水 蒸 気  
垂 直  
条 約

③ 向 上 心  
鋼 鉄  
状 態

④ 展 覧 会  
軫 勤  
混 乱

⑤ 裁 判 官  
返 濟  
看 板

条 上 警 鋼 向 水 官 蒸 看 状
垂 署 敬 覽 諸 乱 裁 展 濟 軫

チャレンジ問題

1 次の(1)~(4)の文について、のことばを直せつくわしく説明していることばを一つずつ選び、記号で答えなさい。

- (1) ア夏の夜空を  大きな花火に  
オ見とれる。
- (2) アデパートの売り場で、ウ大声で 泣く  
子どもを オ見かけた。
- (3) アせが 低い わたしには、ウたなの 上の  
オ物は 力取れない。
- (4) ア荷物は、金曜日の 夜が、土曜日の 朝に  
とどく 予定だ。

2 次の(1)~(4)の文のに入るふさわしいことばを、それぞれあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。(同じものは二度選べません)

- (1) わたしの父と、たいち君のお父さんは兄弟です。、わたしとたいち君はいとこ同士です。
- (2) 日本語には、様子を表すことばが多い。、飛んでいる様子を表すのに、「ひらひら」「びゅんびゅん」などを用いる。
- (3) 宿題も終わったよつだから、外に遊びに行つていいよ。、必ず五時までには帰つてきなさい。
- (4) ぼくは走ることができない。、先週けがをした足が、まだ治つていないからだ。

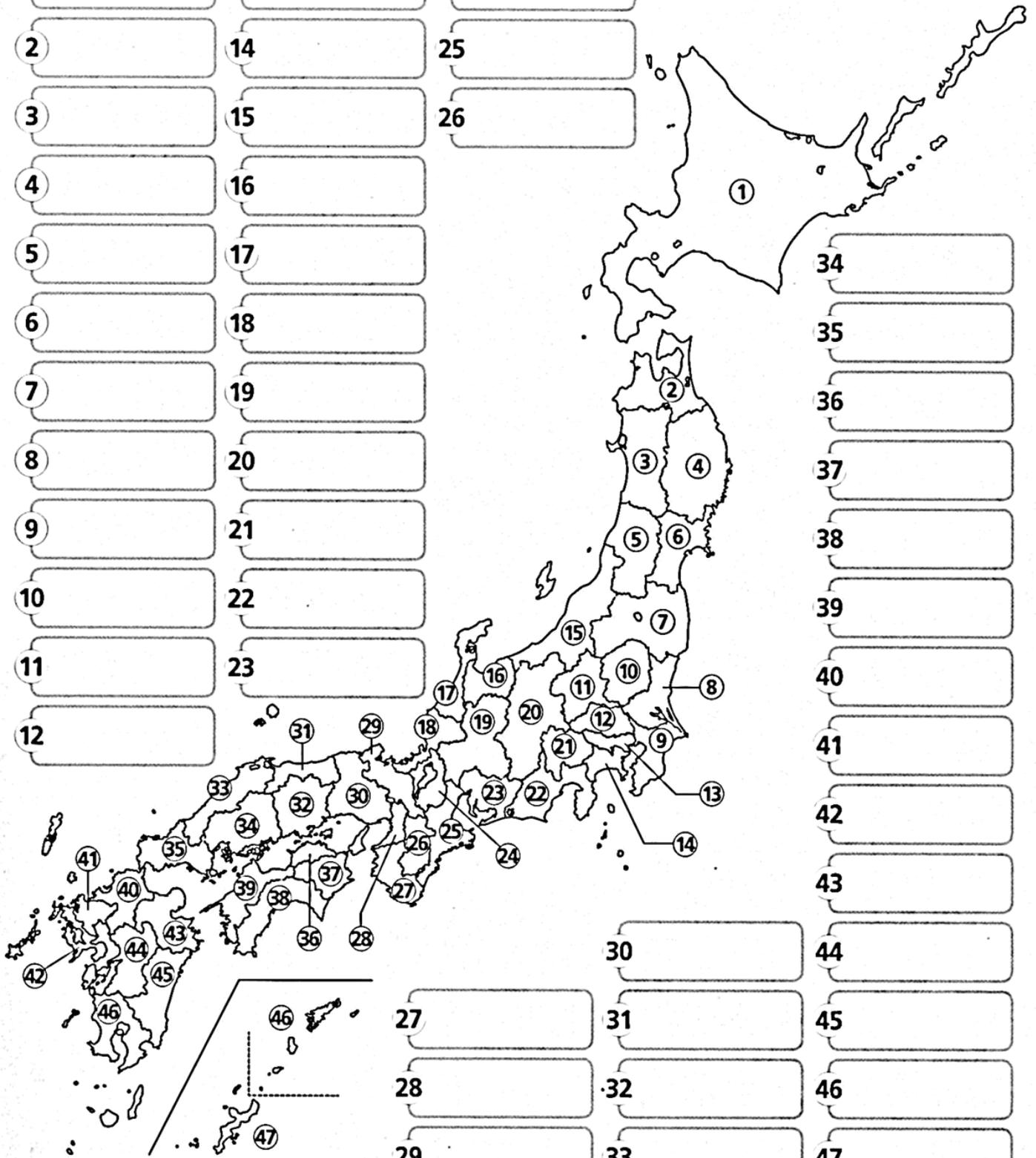
ア ただし      イ たとえば      ウ なぜなら  
エ ところが      オ それとも      カ だから

解答 1 (1)イ(2)エ(3)イ(4)カ      2 (1)カ(2)イ(3)ア(4)ウ

**問題**

日本の47都道府県の名を①～47に書き入れなさい。

①	⑬	⑳
②	⑭	㉑
③	⑮	㉒
④	⑯	
⑤	⑰	
⑥	⑱	
⑦	㉔	
⑧	㉕	
⑨	㉖	
⑩	㉗	
⑪	㉘	
⑫		

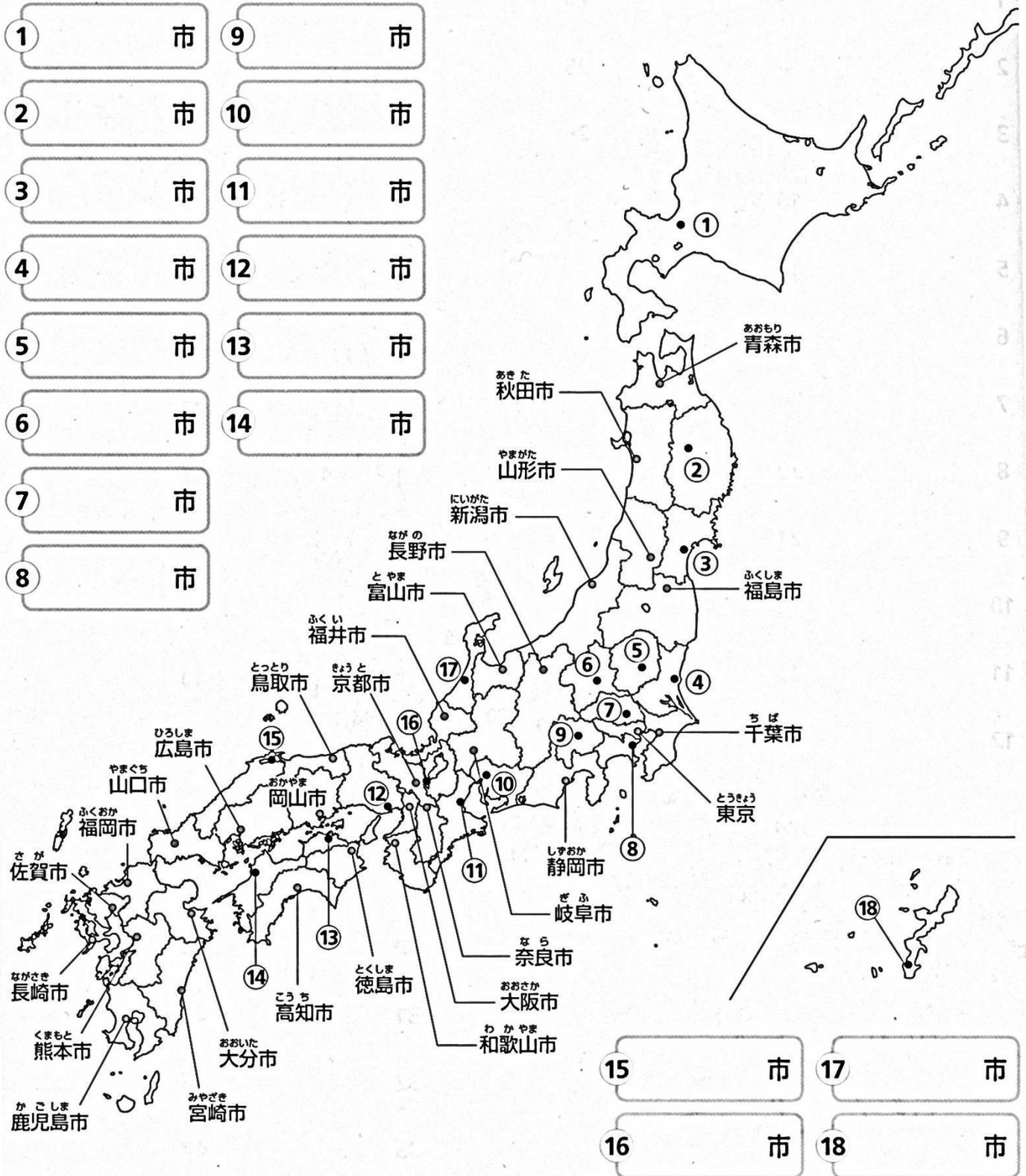


⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
㉔
㉕
㉖
㉗
㉘
㉙
㉚
㉛
㉜
㉝
㉞
㉟
㊱
㊲
㊳
㊴
㊵
㊶
㊷
㊸
㊹
㊺
㊻
㊼
㊽
㊾
㊿

# 都道府県の区分と都道府県庁所在地

**問題** 都道府県の名と異なる都道府県庁所在地の名を①～18に書き入れなさい。

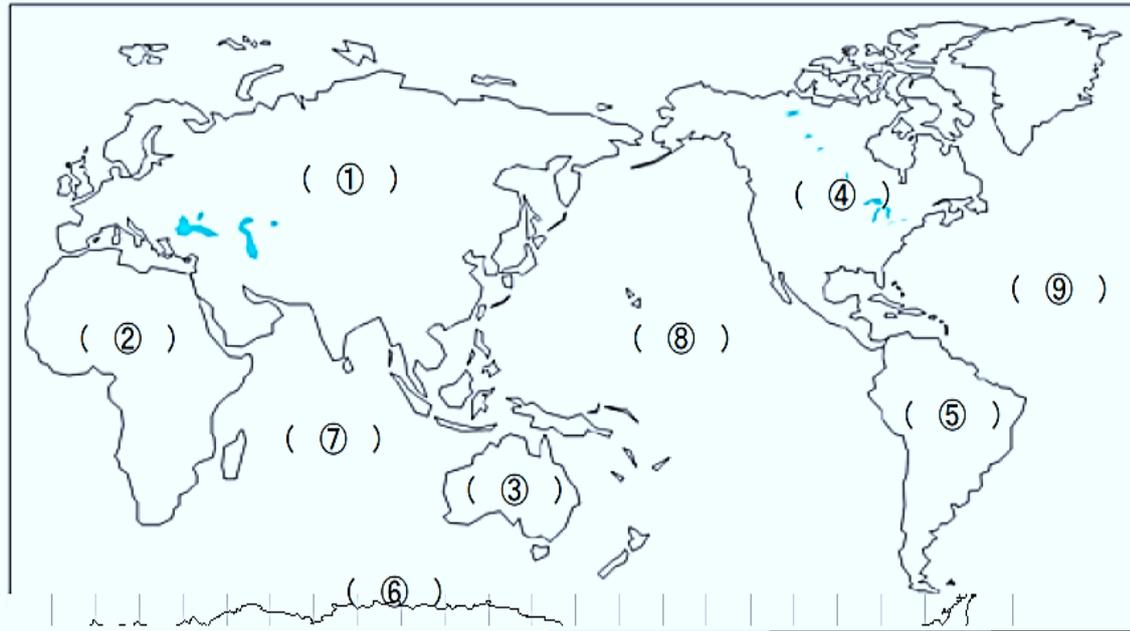
- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| ① | 市 | ⑨ | 市 |
| ② | 市 | ⑩ | 市 |
| ③ | 市 | ⑪ | 市 |
| ④ | 市 | ⑫ | 市 |
| ⑤ | 市 | ⑬ | 市 |
| ⑥ | 市 | ⑭ | 市 |
| ⑦ | 市 |   |   |
| ⑧ | 市 |   |   |



- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| ⑮ | 市 | ⑰ | 市 |
| ⑯ | 市 | ⑱ | 市 |

1. 地図中の①～⑨にあてはまる大洋名、大陸名を書きなさい。

① ( ) 大陸・② ( ) 大陸・③ ( ) 大陸  
 ④ ( ) 大陸・⑤ ( ) 大陸・⑥ ( ) 大陸  
 ⑦ ( ) 洋・⑧ ( ) 洋・⑨ ( ) 洋

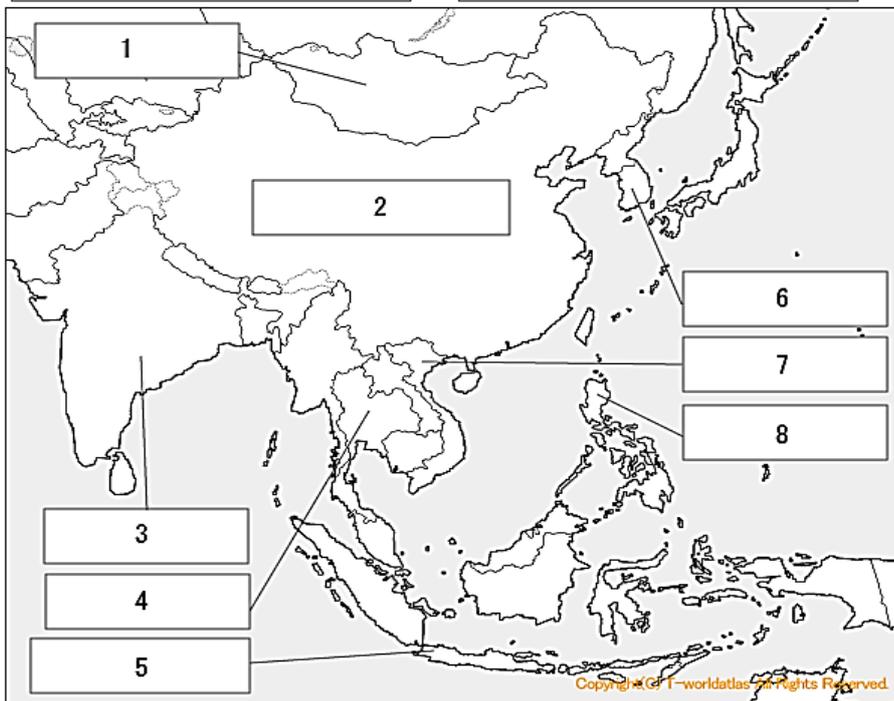


2. 地図（東アジア）中の1～8の国名を書きなさい。

国名

国名

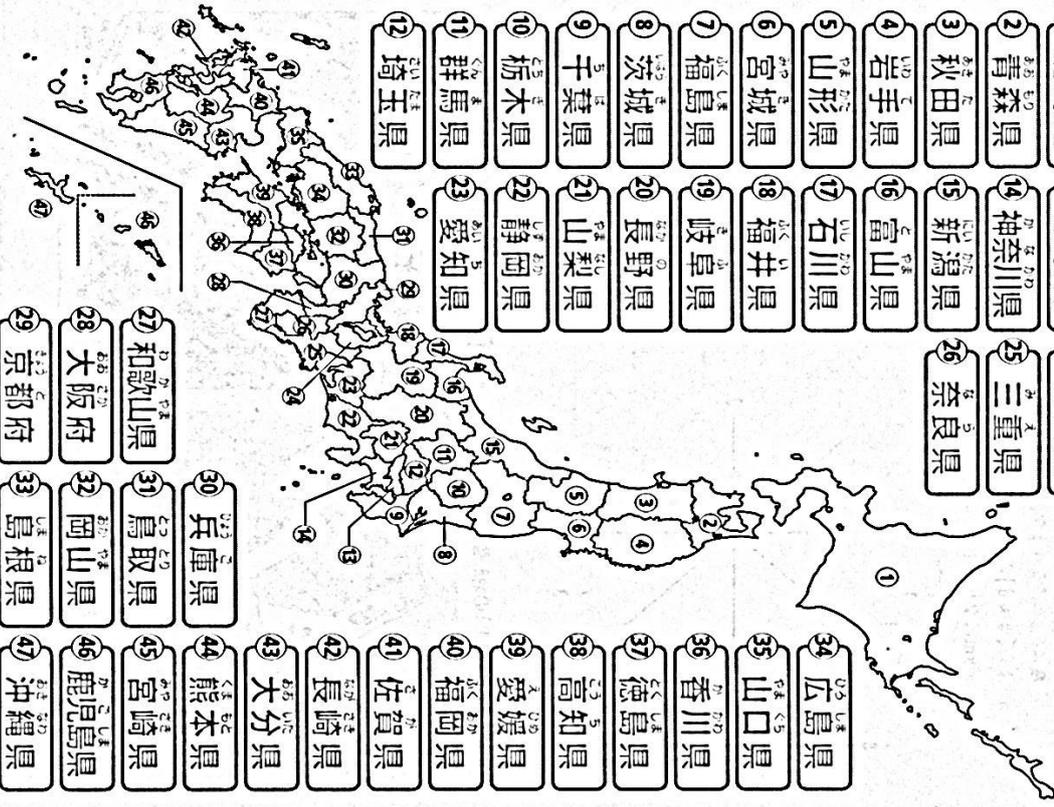
1	<input type="text"/>	5	<input type="text"/>
2	<input type="text"/>	6	<input type="text"/>
3	<input type="text"/>	7	<input type="text"/>
4	<input type="text"/>	8	<input type="text"/>



## 都道府県の区分

問 題 日本の47都道府県の名を①～⑳に書き入れなさい。

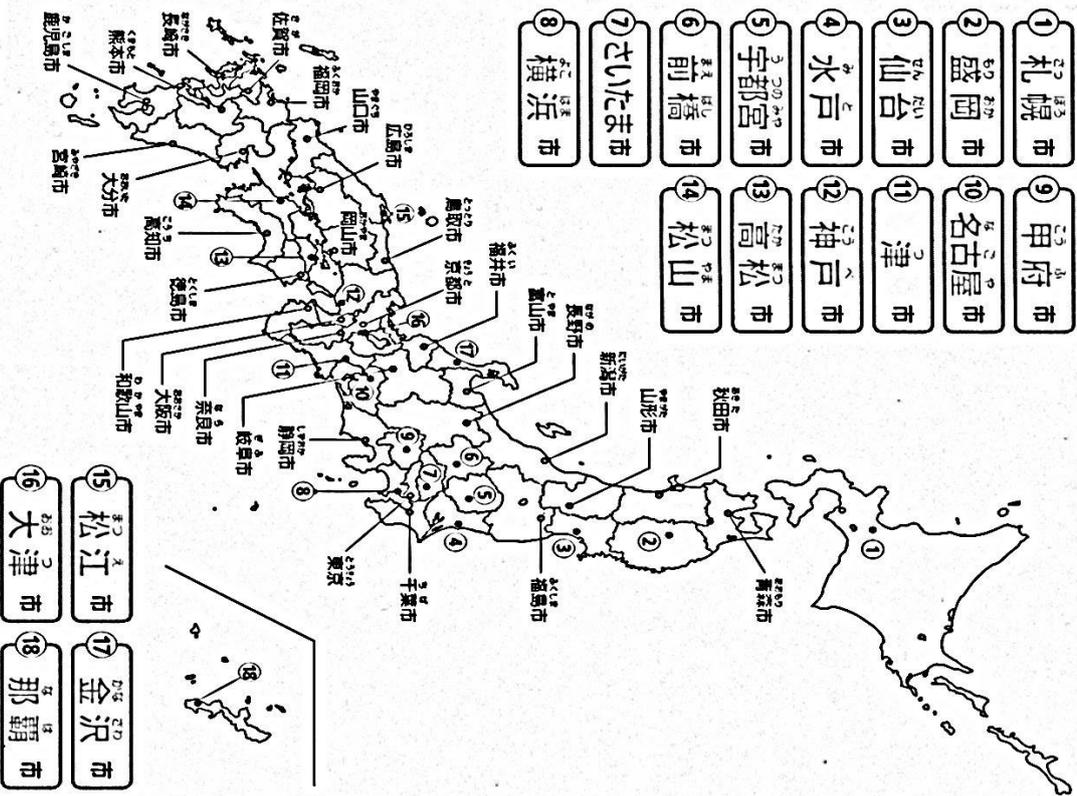
- ① 北海道
- ② 青森県
- ③ 秋田県
- ④ 岩手県
- ⑤ 山形県
- ⑥ 宮城県
- ⑦ 福島県
- ⑧ 茨城県
- ⑨ 千葉県
- ⑩ 栃木県
- ⑪ 群馬県
- ⑫ 埼玉県
- ⑬ 東京都
- ⑭ 神奈川県
- ⑮ 新潟県
- ⑯ 富山県
- ⑰ 石川県
- ⑱ 福井県
- ⑲ 岐阜県
- ⑳ 長野県
- ㉑ 山梨県
- ㉒ 静岡県
- ㉓ 愛知県
- ㉔ 滋賀県
- ㉕ 三重県
- ㉖ 奈良県



## 都道府県の区分と都道府県庁所在地

問 題 都道府県の名と異なる都道府県庁所在地の名を①～⑱に書き入れなさい。

- ① 札幌市
- ② 盛岡市
- ③ 仙台市
- ④ 水戸市
- ⑤ 宇都宮市
- ⑥ 前橋市
- ⑦ さいたま市
- ⑧ 横浜市
- ⑨ 甲府市
- ⑩ 名古屋市
- ⑪ 津市
- ⑫ 神戸市
- ⑬ 高松市
- ⑭ 松山市



- ⑮ 松江市
- ⑯ 大津市
- ⑰ 金沢市
- ⑱ 那覇市

## 世界の白地図の解答

1. ① ( ユーラシア ) 大陸      ② ( アフリカ ) 大陸  
③ ( オーストラリア ) 大陸   ④ ( 北アメリカ ) 大陸  
⑤ ( 南アメリカ ) 大陸      ⑥ ( 南 極 ) 大陸  
⑦ ( インド ) 洋      ⑧ ( 太平 ) 洋      ⑨ ( 大西 ) 洋

2. 1) モンゴル                      2) 中華人民共和国 (中国)  
3) インド                        4) タイ  
5) インドネシア                6) 大韓民国 (韓国)  
7) ベトナム                      8) フィリピン

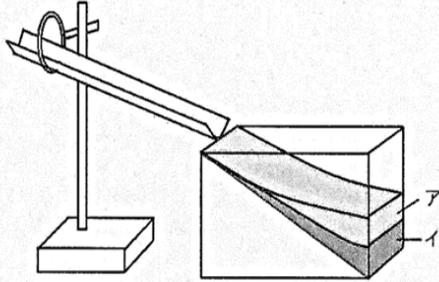
※ 時間が取れる人は、地図帳を開いて、日本や世界のことを見て、勉強することも楽しく、興味がわいてくると思います。



単 元	年 組 番	7 問
6 年 生 「土 地 の つ く り と 変 化 」	氏 名	

1 下の図は流れる水のはたらきで地層が作られるようすを確かめる実験です。以下の問いに答えましょう。

- (1) 砂と泥を混ぜたものを流水で流すと、水そうの中に地層ができました。ア・イはそれぞれ何からできた地層ですか。



答え

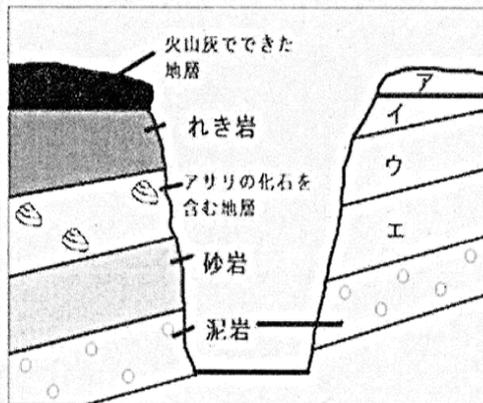


- (2) イが下に積もったのはなぜでしょうか。

答え

2 下の図は地層が見えるがけの真ん中をけずった場所のスケッチです。以下の問いに答えましょう。

- (1) 砂からできた地層はア～エのうちどれですか。



答え

- (2) 泥岩と、火山灰でできた地層はどちらが新しくできたと考えられますか。その理由も書きましょう。

答え

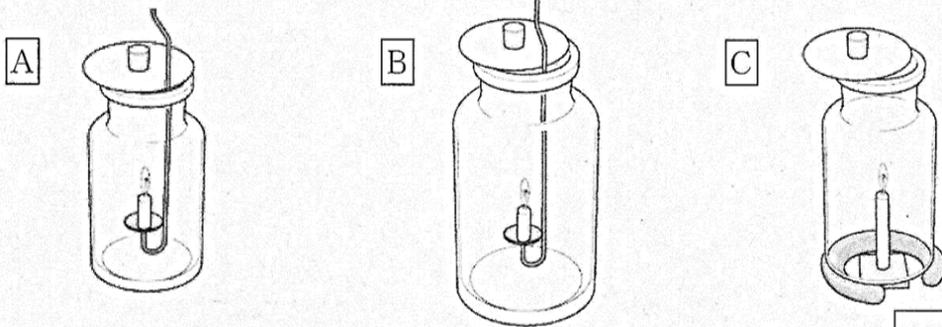
理由

- (3) アサリの化石を含む地層が、陸上で見られるのはなぜだと考えられますか。

答え

単 元	年 組 番	6 問
6 年 「ものの燃え方」	氏名	

1 下の図のように、集気びんの中でろうそくを燃やし、びんの中のようすを調べました。



(1) ろうそくの火がいちばん早く消えるのはどれですか。

(2) いちばん長く燃え続けるのはどれですか。

(3) Cのびんの下すき間に火のついたせんこうのけむりを近づけるとどうなるでしょう。□の中から選び、記号で答えましょう。

ア 何もおこらない イ 下のすき間から入ったけむりで火が消える。

ウ 下のすき間からけむりが入って、上のすき間からけむりが出ていく。

(4) この実験から、びんの中のろうそくが燃え続けるためには、どんなことが必要ですか。

2 ろうそくを燃やす前と燃やしたあとの空気を調べました。

(1) ろうそくを燃やしたあと、びんの中に石灰水を入れてふると白くにごりました。びんの中でふえた気体は何ですか。( )

(2) 気体検知管を使って、ろうそくを燃やす前と燃やしたあとの空気の変化を調べて表にまとめました。( )にあてはまる気体を書きましょう。

	燃やす前	燃やしたあと
( )	0.03%	3%
( )	21%	17%

## 理科（チャレンジシート）解答

### ○ 6年 「水よう液の性質」

1. (1) ① ア ② ウ ③ ウ ④ ウ ⑤ ウ ⑥ イ  
(2) ⑦ ウ ⑧ ア ⑨ イ
2. (1) ① ② ③  
(2) とけた  
(3) アルミニウムとは別のものになった
3. (1) へこむ  
(2) 白くにごる  
(3) 二酸化炭素は、水にとける

### ○ 6年 「土地のつくりと変化」

1. (1) ア 泥      イ 砂  
(2) 重いものから先に沈んでいくため
2. (1) エ  
(2) (答え) 火山灰でできた地層  
(理由) 新しい地層ほど上に積み重なっていくから  
(3) 地震などで土地が上昇したから (海水面が低くなったから)

### ○ 6年 「ものの燃え方」

1. (1) A  
(2) C  
(3) ウ  
(4) 空気が入れかわる必要がある
2. (1) 二酸化炭素  
(2) 上 (二酸化炭素)  
下 (酸素)

## 分数のたし算

☆通分して計算しましょう。

$$(1) \frac{1}{3} + \frac{1}{4} =$$

$$(2) \frac{1}{2} + \frac{1}{5} =$$

$$(3) \frac{2}{5} + \frac{1}{3} =$$

$$(4) \frac{3}{4} + \frac{1}{6} =$$

$$(5) \frac{1}{3} + \frac{3}{7} =$$

$$(6) \frac{3}{7} + \frac{3}{8} =$$

$$(7) \frac{2}{5} + \frac{1}{4} =$$

$$(8) \frac{5}{7} + \frac{1}{5} =$$

☆通分して計算し、答えは約分しましょう。

また、仮分数は帯分数に直しましょう。

$$(1) 3\frac{1}{3} + 1\frac{1}{4} =$$

$$(2) 2\frac{3}{5} + 4\frac{1}{3} =$$

$$(3) 1\frac{1}{3} + 2\frac{3}{4} =$$

$$(4) 1\frac{2}{7} + 4\frac{1}{2} =$$

$$(5) 5\frac{1}{2} + 2\frac{5}{6} =$$

$$(6) 3\frac{1}{3} + 2\frac{2}{7} =$$

$$(7) 1\frac{1}{5} + 3\frac{3}{4} =$$

$$(8) 2\frac{2}{3} + 3\frac{2}{9} =$$

## 分数のひき算

☆通分して計算しましょう。答えが約分できるときは約分しましょう。

$$(1) \frac{1}{3} - \frac{1}{4} =$$

$$(2) \frac{1}{2} - \frac{1}{5} =$$

$$(3) \frac{3}{5} - \frac{1}{3} =$$

$$(4) \frac{8}{9} - \frac{5}{6} =$$

$$(5) \frac{2}{3} - \frac{3}{7} =$$

$$(6) \frac{3}{5} - \frac{3}{7} =$$

---

$$(1) 3\frac{1}{3} - 1\frac{1}{4} =$$

$$(2) 5\frac{3}{5} - 4\frac{1}{3} =$$

$$(3) 2\frac{2}{3} - 2\frac{1}{4} =$$

$$(4) 4\frac{2}{7} - 1\frac{1}{2} =$$

$$(5) 5\frac{1}{2} - 2\frac{5}{6} =$$

---

$$(1) \frac{1}{3} + \frac{1}{4} - \frac{1}{6} =$$

$$(2) \frac{3}{5} + \frac{1}{3} - \frac{2}{3} =$$

$$(3) \frac{1}{3} + \frac{3}{4} - \frac{1}{2} =$$

$$(4) \frac{2}{7} + \frac{1}{2} - \frac{2}{5} =$$

$$(5) \frac{1}{2} + \frac{5}{6} - \frac{3}{4} =$$

## 分数のかけ算

【1】 次の計算をなさい。

$$(1) \frac{1}{3} \times \frac{1}{4} =$$

$$(2) \frac{1}{2} \times \frac{1}{5} =$$

$$(3) \frac{2}{5} \times \frac{1}{3} =$$

$$(4) \frac{3}{4} \times \frac{5}{6} =$$

$$(5) \frac{2}{3} \times \frac{3}{7} =$$

$$(6) \frac{3}{7} \times \frac{3}{8} =$$

$$(7) \frac{2}{5} \times \frac{1}{4} =$$

$$(8) \frac{5}{7} \times \frac{1}{5} =$$

【2】 次の計算をなさい。

$$(1) 1\frac{1}{3} \times \frac{3}{4} =$$

$$(2) 2\frac{1}{2} \times \frac{1}{5} =$$

$$(3) 3\frac{2}{5} \times \frac{7}{34} =$$

$$(4) \frac{3}{4} \times 2\frac{5}{6} =$$

$$(5) 1\frac{2}{5} \times 2\frac{5}{7} =$$

$$(6) \frac{3}{7} \times 1\frac{3}{8} =$$

$$(7) \frac{2}{5} \times 1\frac{1}{4} =$$

$$(8) 2\frac{5}{7} \times 1\frac{1}{19} =$$

## 分数のわり算

【1】 次の計算をなさい。

$$(1) \frac{1}{3} \div \frac{1}{4} =$$

$$(2) \frac{1}{2} \div \frac{1}{5} =$$

$$(3) \frac{2}{7} \div \frac{2}{3} =$$

$$(4) \frac{3}{4} \div \frac{5}{6} =$$

$$(5) \frac{5}{14} \div \frac{3}{7} =$$

$$(6) \frac{3}{7} \div \frac{3}{8} =$$

$$(7) \frac{2}{5} \div \frac{5}{6} =$$

$$(8) \frac{5}{7} \div \frac{1}{7} =$$

【2】 次の計算をなさい。

$$(1) \frac{1}{8} \div 2\frac{1}{4} =$$

$$(2) 3\frac{1}{2} \div \frac{5}{8} =$$

$$(3) 2\frac{2}{5} \div \frac{1}{3} =$$

$$(4) \frac{3}{4} \div 1\frac{5}{6} =$$

$$(5) \frac{2}{3} \div \frac{8}{15} =$$

$$(6) 1\frac{3}{7} \div \frac{3}{14} =$$

$$(7) \frac{2}{5} \div 1\frac{1}{5} =$$

$$(8) 1\frac{5}{7} \div \frac{12}{13} =$$

チャレンジ問題

1 次の計算を、筆算でしなさい。

(1)  $7.4 \times 2.3$

(2)  $6.5 \times 0.8$

(3)  $2.9 \times 0.56$

2 次の計算を筆算でわりきれぬまでしなさい。

(1)  $45.9 \div 3.4$

(2)  $2.7 \div 0.04$

(3)  $1.69 \div 5.2$

3 次の問いに答えなさい。

(1) 次の計算をしなさい。ただし、商は一の位まで求めて、あまりをだしなさい。

①  $59.4 \div 1.3$

②  $194 \div 7.2$



(2) 次の計算をしなさい。ただし、商を四捨五入して、上から2けたのがい数で求めなさい。

①  $9.2 \div 2.6$

②  $1.72 \div 4.7$



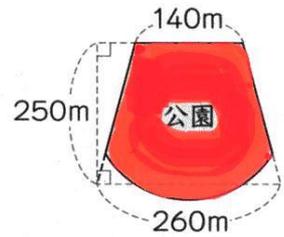
4 次の□にあてはまる数を書きなさい。

(1)  $3.2 \times 4 \times 2.5 = 3.2 \times \square = \square$

(2)  $1.7 \times 9.6 + 1.3 \times 9.6 = \square \times 9.6 = \square$

チャレンジ問題

1 右の図のような公園のおよその面積を求めなさい。




2 円周率を3.14として, 次の□にあてはまる言葉を書きなさい。

(1) 円周 = □ × 3.14

(2) 右の図のように考えると,

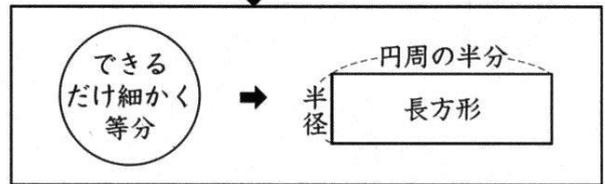
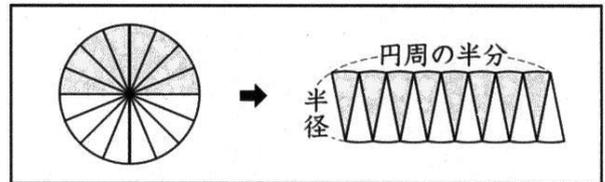
円の面積 = □ × 円周の半分

= □ × 円周 ÷ 2

= □ × (□ × 3.14) ÷ 2

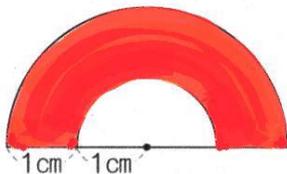
= □ × (□ ÷ 2) × 3.14

= □ × □ × 3.14

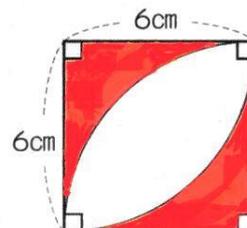


3 次の○の面積は何cm<sup>2</sup>ですか。ただし, 円周率は3.14とします。

(1)




(2)



チャレンジ問題

1 次の①～⑤の中から、 $y$ が $x$ に比例しているもの、反比例しているものをそれぞれ全部選び、番号で答えなさい。

- ① 1本50円のえんぴつの本数 ( $x$ 本) とその代金 ( $y$ 円)
- ② 正三角形の1辺の長さ ( $x$ cm) とまわりの長さ ( $y$ cm)
- ③ 200ページの本の、読んだページ数 ( $x$ ページ) と残っているページ数 ( $y$ ページ)
- ④ 面積が30cm<sup>2</sup>の長方形の、縦の長さ ( $x$ cm) と横の長さ ( $y$ cm)
- ⑤ 時速45kmで走る自動車の、走った時間 ( $x$ 時間) と走った道のり ( $y$ km)

比例

反比例

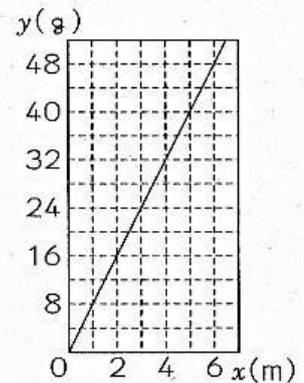
2 右のグラフは、はり金の長さ ( $x$ m) とその重さ ( $y$ g) の関係を表したものです。

(1) 40gのはり金の長さは、何mですか。

(2)  $x$ と $y$ の関係を式に表しなさい。

$y =$

(3) 18mのはり金の重さは何gですか。



3 右の表は、家から駅までの道を歩く速さ (分速  $x$ m) とかかる時間 ( $y$ 分) の関係を表したものです。

(1) 家から駅までの道のりは、何mですか。

分速 $x$ (m)	30	50	150
時間 $y$ (分)	40	24	<input type="text"/>

(2)  $x$ と $y$ の関係を式に表しなさい。

$y =$

(3) 分速150mで歩くときにかかる時間は几分ですか。

分数のたし算

(1)  $\frac{7}{12}$  (2)  $\frac{7}{10}$  (3)  $\frac{11}{15}$  (4)  $\frac{11}{12}$

(5)  $\frac{16}{21}$  (6)  $\frac{45}{56}$  (7)  $\frac{13}{20}$  (8)  $\frac{32}{35}$

(1)  $4\frac{7}{12}$  (2)  $6\frac{14}{15}$  (3)  $4\frac{1}{12}$  (4)  $5\frac{11}{14}$

(5)  $8\frac{1}{3}$  (6)  $5\frac{13}{21}$  (7)  $4\frac{19}{20}$  (8)  $5\frac{8}{9}$

分数のひき算

(1)  $\frac{1}{12}$  (2)  $\frac{3}{10}$  (3)  $\frac{4}{15}$  (4)  $\frac{1}{18}$  (5)  $\frac{5}{21}$  (6)  $\frac{6}{35}$

(1)  $2\frac{1}{12}$  (2)  $1\frac{4}{15}$  (3)  $\frac{5}{12}$  (4)  $2\frac{11}{14}$  (5)  $3\frac{2}{3}$

(1)  $\frac{5}{12}$  (2)  $\frac{4}{15}$  (3)  $\frac{7}{12}$  (4)  $\frac{27}{70}$  (5)  $\frac{7}{12}$

分数のかけ算

(1)  $\frac{1}{12}$  (2)  $\frac{1}{10}$  (3)  $\frac{2}{15}$  (4)  $\frac{5}{8}$

(5)  $\frac{2}{7}$  (6)  $\frac{9}{56}$  (7)  $\frac{1}{10}$  (8)  $\frac{1}{7}$

(1) 1 (2)  $\frac{1}{2}$  (3)  $\frac{7}{10}$  (4)  $2\frac{1}{8}$

(5)  $3\frac{4}{5}$  (6)  $\frac{33}{56}$  (7)  $\frac{1}{2}$  (8)  $\frac{20}{7}$

分数のわり算

(1)  $1\frac{1}{3}$  (2)  $2\frac{1}{2}$  (3)  $\frac{3}{7}$  (4)  $\frac{9}{10}$

(5)  $\frac{5}{6}$  (6)  $1\frac{1}{7}$  (7)  $\frac{12}{25}$  (8) 5

(1)  $\frac{1}{18}$  (2)  $5\frac{3}{5}$  (3)  $7\frac{1}{5}$  (4)  $\frac{9}{22}$

(5)  $1\frac{1}{4}$  (6)  $6\frac{2}{3}$  (7)  $\frac{1}{3}$  (8)  $1\frac{6}{7}$

【チャレンジ問題】

解答	アドバイス
<p><b>1</b></p> <p>(1) 17.02      (2) 5.2 (3) 1.624</p> <p><b>2</b></p> <p>(1) 13.5      (2) 67.5 (3) 0.325</p> <p><b>3</b></p> <p>(1)① 45あまり0.9     ② 26あまり6.8 (2)① 3.5      ② 0.37</p> <p><b>4</b></p> <p>(1) 10, 32 (2) 3, 28.8</p>	<p><b>1</b></p> <p>(2) 1より小さい数をかけると、その積は、かけられる数より小さくなります。</p> <p><b>2</b></p> <p>(2) 1より小さい数でわると、その商は、わられる数より大きくなります。</p> <p><b>3</b></p> <p>(1) あまりの小数点の位置に注意しましょう。 (2) 上から3けためまで計算し、3けためを四捨五入します。</p> <p><b>4</b></p> <p>(1) <math>(\square \times \bigcirc) \times \triangle = \square \times (\bigcirc \times \triangle)</math> (2) <math>\square \times \bigcirc + \triangle \times \bigcirc = (\square + \triangle) \times \bigcirc</math></p>

【チャレンジ問題】

解答	アドバイス
<p><b>1</b></p> <p>約50000㎡</p> <p><b>2</b></p> <p>(1) 右のアドバイス (2) 右のアドバイス</p> <p><b>3</b></p> <p>(1) 4.71cm<sup>2</sup> (2) 15.48cm<sup>2</sup></p>	<p><b>1</b></p> <p>上底が140m、下底が260m、高さが250mの台形の面積を求めます。  <math>(140 + 260) \times 250 \div 2 = 50000</math> (㎡)          または、2つの三角形に分けて求めることもできます。</p> <p><b>2</b></p> <p>(1) 円周 = 直径 <math>\times</math> 3.14 (2) 円の面積 = 半径 <math>\times</math> 円周の半分  <math>=</math> 半径 <math>\times</math> 円周 <math>\div 2</math>  <math>=</math> 半径 <math>\times</math> (直径 <math>\times</math> 3.14) <math>\div 2</math>  <math>=</math> 半径 <math>\times</math> (直径 <math>\div 2</math>) <math>\times</math> 3.14  <math>=</math> 半径 <math>\times</math> 半径 <math>\times</math> 3.14</p> <p><b>3</b></p> <p>(1) 半径2cmの半円から半径1cmの半円をひきます。  <math>2 \times 2 \times 3.14 \div 2 - 1 \times 1 \times 3.14 \div 2 = 4.71</math> (cm<sup>2</sup>) (2) 正方形から円の<math>\frac{1}{4}</math>をひいた図形が2つあります。  <math>(6 \times 6 - 6 \times 6 \times 3.14 \div 4) \times 2 = 15.48</math> (cm<sup>2</sup>)</p>

## 【チャレンジ問題】

解答	アドバイス
<p style="text-align: center;"><b>1</b></p> <p>比例 ①, ②, ⑤ 反比例 ④</p>	<p style="text-align: center;"><b>1</b></p> <p>① <math>y=50 \times x</math> → 比例    ② <math>y=3 \times x</math> → 比例 ③ <math>y=200-x</math>            ④ <math>y=30 \div x</math> → 反比例 ⑤ <math>y=45 \times x</math> → 比例</p>
<p style="text-align: center;"><b>2</b></p> <p>(1) 5m (2) <math>y=8 \times x</math> (3) 144g</p>	<p style="text-align: center;"><b>2</b></p> <p><math>y</math>は<math>x</math>に比例しています。</p> <p>(1) グラフから、40gのとき5mであることが読みとれます。 (3) (2)の式を利用すると、<math>y=8 \times 18=144</math>(g) または、6mのとき48gだから、 18mlは6mの(18÷6=)3倍で、 重さは48gの3倍となり、<math>48 \times 3=144</math>(g)</p>
<p style="text-align: center;"><b>3</b></p> <p>(1) 1200m (2) <math>y=1200 \div x</math> (3) 8分</p>	<p style="text-align: center;"><b>3</b></p> <p><math>y</math>は<math>x</math>に反比例しています。</p> <p>(1) 表から、分速30mのとき40分、分速50mのとき24分であることが読みとれます。 <math>30 \times 40=1200</math>(m), <math>50 \times 24=1200</math>(m) (3) (2)の式を利用すると、<math>y=1200 \div 150=8</math>(分) または、分速50mのとき24分だから、 分速150mは分速50mの(150÷50=)3倍で、 かかる時間は24分の<math>\frac{1}{3}</math>となり、<math>24 \times \frac{1}{3}=8</math>(分)</p>

アルファベットを書こう

グレーの字をていねいになぞりましょう。

大文字

小文字

<b>A</b> A A A A A A	<b>a</b> a a a a a a
<b>B</b> B B B B B B	<b>b</b> b b b b b b
<b>C</b> C C C C C C	<b>c</b> c c c c c c
<b>D</b> D D D D D D	<b>d</b> d d d d d d
<b>E</b> E E E E E E	<b>e</b> e e e e e e
<b>F</b> F F F F F F	<b>f</b> f f f f f f
<b>G</b> G G G G G G	<b>g</b> g g g g g g
<b>H</b> H H H H H H	<b>h</b> h h h h h h
<b>I</b> I I I I I I	<b>i</b> i i i i i i
<b>J</b> J J J J J J	<b>j</b> j j j j j j
<b>K</b> K K K K K K	<b>k</b> k k k k k k
<b>L</b> L L L L L L	<b>l</b> l l l l l l
<b>M</b> M M M M M M	<b>m</b> m m m m m m

大文字

小文字

**N** N N N N N N N      **n** n n n n n n n

**O** O O O O O O O      **o** o o o o o o o

**P** P P P P P P P      **p** p p p p p p p

**Q** Q Q Q Q Q Q Q      **q** q q q q q q q

**R** R R R R R R R      **r** r r r r r r r

**S** S S S S S S S      **s** s s s s s s s

**T** T T T T T T T      **t** t t t t t t t

**U** U U U U U U U      **u** u u u u u u u

**V** V V V V V V V      **v** v v v v v v v

**W** W W W W W W W      **w** w w w w w w w

**X** X X X X X X X      **x** x x x x x x x

**Y** Y Y Y Y Y Y Y      **y** y y y y y y y

**Z** Z Z Z Z Z Z Z      **z** z z z z z z z

## ヘボン式ローマ字の書き方

★ヘボン式ローマ字は、パソコンに打つときのローマ字と異なるものもあります。  
間違えやすいローマ字を確認しましょう。

し	ち	つ	ふ	じ	
shi	chi	tsu	fu	ji	
しゃ	しゅ	しょ	ちゃ	ちゅ	ちょ
sha	shu	sho	cha	chu	cho
じゃ	じゅ	じょ	ん		
ja	ju	jo	n		

★日本語の単語を書くときは、以下のことに気をつけましょう。

① 「っ」とつまる音

その次の文字を重ねて表します。[例] 北海道(Hokkaido) 鳥取(Tottori) 納豆(natto)  
次にくる文字が ch(ちゃ・ちゅ・ちょ)の場合は、tch になります。[例] 抹茶(matcha)

② 「ん」とはねる音

n で表しますが、b, p, m の前では m になります。[例] てんぷら(tempura) 難波(Namba)

③ のばす音

地名や人名の場合は、普通符号をしません。[例] 東京(Tokyo) 伊藤(Ito)

※固有名詞(人の名前や地名)は大文字で書き始めましょう

Try!



次の日本語をヘボン式ローマ字で書こう!

① 納豆

.....  
.....  
.....

② 北海道

.....  
.....  
.....

③ 鳥取

.....  
.....  
.....

④ 抹茶(まっちゃ)

.....  
.....  
.....

⑤ てんぷら

.....  
.....  
.....

⑥ 群馬

.....  
.....  
.....

⑦ 柔道(じゅうどう)

.....  
.....  
.....

⑧ 将棋(しょうぎ)

.....  
.....  
.....

⑨ 大阪

.....  
.....  
.....

⑩ 福岡

.....  
.....  
.....

⑪ 北九州

.....  
.....  
.....

⑫ 篠崎

.....  
.....  
.....

## ヘボン式ローマ字の書き方

★ヘボン式ローマ字は、パソコンに打つときのローマ字と異なるものもあります。  
間違えやすいローマ字を確認しましょう。

し	ち	つ	ふ	じ	
shi	chi	tsu	fu	ji	
しゃ	しゅ	しょ	ちゃ	ちゅ	ちょ
sha	shu	sho	cha	chu	cho
じゃ	じゅ	じょ	ん		
ja	ju	jo	n		

★日本語の単語を書くときは、以下のことに気をつけましょう。

① 「っ」とつまる音

その次の文字を重ねて表します。[例] 北海道(Hokkaido) 鳥取(Tottori) 納豆(natto)  
次にくる文字が ch(ちゃ・ちゅ・ちょ)の場合は、tch になります。[例] 抹茶(matcha)

② 「ん」とはねる音

n で表しますが、b, p, m の前では m になります。[例] てんぷら(tempura) 難波(Namba)

③ のばす音

地名や人名の場合は、普通符号をしません。[例] 東京(Tokyo) 伊藤(Ito)

※固有名詞(人の名前や地名)は大文字で書き始めましょう

Try! 次の日本語をヘボン式ローマ字で書こう!

① 納豆

natto

② 北海道

Hokkaido

③ 鳥取

Tottori

④ 抹茶(まっちゃ)

matcha

⑤ てんぷら

tempura

⑥ 群馬

Gumma

⑦ 柔道(じゅうどう)

judo

⑧ 将棋(しょうぎ)

shogi

⑨ 大阪

Osaka

⑩ 福岡

Fukuoka

⑪ 北九州

Kitakyushu

⑫ 篠崎

Shinozaki

## 文の書き方

I'm Kotaro. Call me Kota.

① 文は必ず**大文字**で書き始める

※I(わたしは)、Ms.(さん、先生)、Mr.(さん、先生)や固有名詞(人の名前・地名)はいつも(文の途中で) 大文字になる。

② 単語と単語の間は小文字1字分くらい(○)あけて書く。

③ 文の終わりには「. (ピリオド)」をつける。

④ 文と文の間は、②のときよりも少し広めて、小文字2字分くらい(○○)あけて書く。

⑤ I'mの「'」はアポストロフィという。

Do you like music? Yes, I do.

⑥ 疑問文では、「? (クエスチョンマーク)」を文の終わりにつける。

⑦ 疑問文に対する答えの文では、文の最初にくる Yes や No のあとに「, (コンマ)」をつける。

★文を書くときのポイントに気をつけながら、文を書いてみよう!(グレーの字もなぞって、4回ずつ練習しよう。)

I'm Kotaro. Call me Kota.

Do you like music?

Yes, I do.

# 春 休 み

月	日	曜	天気	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	今日の出来事
3	18	水				祝		春		業				
3	19	木												
3	20	金												
3	21	土												
3	22	日												
3	23	月												
3	24	火												
3	25	水												
3	26	木												
3	27	金												
3	28	土												
3	29	日												
3	30	月												
3	31	火												

※ 家庭学習⇒赤、テレビ⇒青など、項目ごとに色を決めて記入しましょう。

- ・家庭学習 ⇒ (      色)    ・テレビ ⇒ (      色)    ・遊び ⇒ (      色)
- ・お手伝い ⇒ (      色)    ・ゲームやパソコンなど ⇒ (      色)
- ・            ⇒ (      色)    ・            ⇒ (      色)

◎休みでも、「早寝・早起き・朝ごはん」など、生活リズムや習慣を崩さず規則正しい生活をして、中学校生活に入っていけるようにしましょう！

# の 記 録

月	日	曜	天気	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	今日の出来事
4	1	水												
4	2	木												
4	3	金												
4	4	土												
4	5	日												
4	6	月												
4	7	火												
4	8	水												
4	9	木												
4	10	金			祝		入	学		式				おめでとう!

4月10日(金)は、中学校の入学式です。

準備は出来ていますか？

## 保護者のみなさまへ

○お子様の春休みの様子や中学校生活への期待などがございましたら、自由にお書きください。

---



---



---



---



---

# 北九州市立菊陵中学校

